



発行所 財団法人 漁船海難遺児育英会 〒101-0047 東京都千代田区 内神田1丁目2番1号

# 2015ふれあい旅行

本会普及指導事業の1つである奨学生・保護者交流活動「2015ふれあい旅行」が、7月31日から2泊3日の日程で開催されました。

### 【参加者数】

19人(奨学生11人/保護者8人)

### 【スタッフ数】

7人(ワンパク大学3人/全協協(JF全漁連)職員1人/本会職員3人)

### 【宿泊先】

ヤマハリゾートつま恋

### 【協賛団体】

- ・ JF全国女性連
・ JF全国漁青連
・ JF共水連

※順不同・敬称略

当日は、漁船海難遺児を励ます全国協議会(JF全漁連)から若林漁政部長、木山同部部長代理、JF共水連から内田課長をお招きし、集合場所となったコープビルにて結団式を行いました。

この旅行の企画・運営にあたってくださったワンパク大学の皆さま



前に、全員参加者たち



【関連記事2面】

## 2015年度 第2回奨学生選考委員会

7月28日、「2015年度第2回奨学生選考委員会」が東京・千代田区の本会事務所にて書面決議により開催され、「第2回奨学生出願者(7月15日締切)の選考」について審議されました。

## 第62回 全水商連全国福井大会

7月19日、福井市文化会館(福井県)において、全国各地の水産物小売商関係者約400人が一同に会し、全国水産物商業協同組合連合会(以下、全水商連)主催による「第62回全水商連全国福井大会」が盛大に開催されました。

## 第10回マリノカップ 海難遺児チャリティコンペ

7月25日、「第10回マリノカップ海難遺児チャリティコンペ」が、今年も三重県「津カントリー倶楽部」にて開催されました。

当日は、大会趣旨に賛同されたTCC(津カントリー倶楽部)メンバーをはじめとする176人も朝早くから自慢の腕を競い合いました。また、会場には地元の子供たち70人が招待され、鳥羽水族館・古田正美館長のトークショーや津軽三味線ユニット「KUNIKUN」によるミニライブ、スナックゴルフ体験や射的など盛りだく



ん(顧問1名、生徒4名)をはじめ、福井県商協同組合連合会、漁船海難遺児を励ます福井県協議会のかたがたとともに、来場された皆さまに対し「水色の羽根募金」を呼び掛けました。また、式典では募金の贈呈式が行われ、本会理事長に代わり、高橋JF福井漁連代表理事会長から永井良和全水商連会長と高橋則幸広島商協同組合青年部部长へ感謝状が贈呈されました。ご支援いただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

## JF沖縄漁連 第23回チャリティーゴルフ大会

9月18日、恩納村の「沖縄国際ゴルフ倶楽部」にて、JF沖縄漁連主催による「第23回漁船海難遺児育英資金造成チャリティーゴルフ大会」が開催されました。

この大会は海難等の事故により犠牲となった漁業者の子弟が将来社会に役立つ人材に成長していただくことを願い、本会育英事業を支援する全国的な資金造成活動の一環として、沖縄県漁協参事会を中心に、県下JFグループならびに水産諸団体ご協力のもと毎年実施されております。



表彰式にて、朝香理事長(右)と鈴木専務理事(写真提供 津カントリー倶楽部)



上原会長(左)と堅い握手を交わす鈴木専務理事

# 2015 ふれあい旅行 主な行程と参加者の声



## 8月1日(2日目)



去年より本格的で難しかったな。(中1・女)

### 9:30 アーチェリー大会

昨年に引き続き、今年も開催！1人6本×6セットの合計点を競い合いました。



### 13:00 クラフト教室

家族ごとに分かれて「あやつり人形」を作りました。

### 16:00 パターゴルフ大会

アーチェリー同様、子供もハンデなしのガチンコ勝負！各自9ホール回りました。



まだまだ遊び足りないよ！

### 20:00 ふれあいタイム

子供達だけの楽しい時間。大人は別室で座談会。

Zzz...



### 21:00 消灯

## 7月31日(1日目)

13:00 結団式～ふれあいタイム▶  
バス乗車前のレクリエーションでみんなと仲良くなるろう！



### 14:00 出発

コープビルの皆さんが手を振ってお見送り。

### 17:30 ホテル到着～夕食▶

みんなが楽しみにしていた豪華なディナー。食後はビンゴや子供チームと大人チームに分かれてゲームをしました。



ごはんがおいしかった！(小3・女)

### 20:30 花火～消灯▶

線香花火がすぐ落ちてしまってくやしい～。(小6・男)



なかなか入らなかったけど、とても楽しかった♪(小5・女)

## 8月2日(3日目)

### 8:45 掛川花鳥園見学▶

鳥たちと直接ふれあえるテーマパークです。餌やりをしたり、自分の腕や肩にのせることもできます！



大好きなペンギンもいて、とてもかわかったよ。(小4・男)

### 13:00 解散(東京駅)



帰りたくない!!!

### 奨学生から



＊最初は参加するのに勇気がいりました。知らない人たちと仲良くなれるのか不安でしたが、一回参加してみると、とても楽しく毎年行きたくなります。皆とても優しく、違う学年の子や男女かかわらず仲良くなることができました。旅行が終わっても、手紙交換をずっとしている友達もたくさんいます。皆さんも、勇気を出して参加してみてください！

〔宮城・中3・女・4回目〕

＊最初の旅行のとき、僕はまだ小4でした。幼い僕でもなじめるように、ワンパク大学や育英会のおかげで試行錯誤し、いろいろな楽しい場を設けてくださったので、とても楽しく過ごすごことができ、友達をつくることができました。旅行では未体験のことばかりで戸惑いつつも、一瞬一瞬を大切に、その場所の特色や良さを知れたこと、離れていても同じ境遇である以上、他人ではなく同じ理解者であり、仲間であり、友達であること、いろいろ言っても、まだまだ人生長いから何かあるかわからないよということ。これらはすべてこのふれあい旅行で得た僕の大切な考え、思い、思い出です。

〔長崎・中3・男・5回目〕

＊初めて旅行に参加した時、ホテルの部屋がお母さんと別々で恐くて、友達もできるか不安だった。でも今は、「早く一年経たないかなあ」と待ち遠しくなっていた。それは、この旅行にはデメリットがなく、メリットしかない旅行だからだ。私はお父さんを亡くし、

### お母さんを笑顔にしたいと思っ たことが何回もある。そんな中で ふれあい旅行に出会えて、本当に 良かったと思う。

〔鹿児島・中2・女・4回目〕

### 保護者から



＊この旅行は、我が家で一年に一度の最大のイベントなのです。飛行機なんて…こんな機会がないと乗れないし、近場の旅行にだって連れて行けない状況…。なんとも嬉しいのは…旅行中の子供たちの世話はまかせっきりだということ。これが普通の旅行であれば、自分のことと子供たち

＊毎年、帰りの新幹線の中では、娘と「すごく楽しかったね」など会話をしながら帰って来ます。いつ見ても、子供の笑顔は嬉しいものです。いまだ仮設住宅暮らしで不便もありますが、これからも頑張っていこうと思えました。

〔宮城・4回目〕

＊突然、母親の代理で伯母の私が同行することになった今回の旅行。何をやるのかもよく分からず、知らない人たちの中で一人ポツンとするのかなと不安な気持ちでいっぱいでした。ところが、そんな不安な気持ちは一時間もたたないうちに消えていきました。「なんだか楽しい！」「来て良かった！」「あつという間の三日間でし

た。帰りのバスの中で、甥っ子が「すごく楽しいから帰りたくないなあ」とつぶやきました。せっかく出会えたお友達に来年も会いたいと嬉しそうに話すのを聞いて私も嬉しくなりました。

〔大阪・1回目〕

## 野外教育事業所 ワンパク大学とは…

1975年に伊豆七島・三宅島で発足した団体です。現在は、東京都新宿区に拠点を置き、幼児から大人を対象に、年間を通じた自然体験活動の企画運営を行っている都市型の自然学校です。さまざまな活動の中で「新しい発見・大きな感動」を体験することで、「生活力(生きていく力)」を身につけた感情豊かな「ひと」を育てるとともに、自然環境を維持するための野外教育をされています。

本会が主催する「ふれあい旅行」では、旅の企画運営のほか、参加者のご自宅から東京(集合場所)までの交通手段の手配などもさせていただきます。また、旅行中は基本的にワンパク大学のスタッフが、子供たちと就寝をともにし、食事や入浴などの面倒をみてくださいますので、保護者の皆さんは、安心してご自分たちの時間をゆったり満喫していただけます。



と就寝をともにし、食事や入浴などの面倒をみてくださいますので、保護者の皆さんは、安心してご自分たちの時間をゆったり満喫していただけます。

「たまたまた一年頑張れる！」と元気になるのです。福岡・3回目」
\*初めて旅行に参加した時は、緊張と親子別々の部屋という事で心配しましたが、子供はワンパク大学のスタッフのかたがたがお世話してくださったので安心しました。何よりもこの旅行に参加したことで、口には出さなくても親子共に心のリフレッシュができて感謝しています。

〔長崎・5回目〕

\*この旅行のことは「育英会だより」に掲載された写真を見て知りました。初めは東京近辺の方だけの参加と思っていました。しかし、その後、封書で届いた案内によると、対象年齢となる子供を持つ家庭なら誰でも参加可能で、毎年違う場所での親子の思い出作りができ、飛行機や新幹線の往復の旅費と三日間の宿泊、食事が全て無償というかなりラッキーなものでした。普段、なかなか自力で旅行に連れて行けないため、この最高な企画は本当にありがたいです。何より、子供がこの旅行を通じて、父親を亡くした同じ痛みのわかる者同士、「自分だけじゃないんだ」と力をもらえるのです。親もそうです。最初は緊張で皆と仲良くできるのか不安でしたが、すぐに打ち解け、話してみると共感する点がとても多く、一気に気持ち楽になりました。対象のお子さんのいるご家庭に一组でも多く、この旅行に参加して実感してほしいです。

〔鹿児島・4回目〕

※「」は参加者の在住県と参加回数、奨学生のみ学年と性別も表記しています。
追記 掲載の都合上、文章の一部を編集、省略しておりますことをご了承ください。

ご寄附のお礼

励ましおじさんおばさん

2015年6月から8月までにご寄附を頂いた皆さまのご芳名(敬称略)を掲げ、厚くお礼申し上げます。

- 〔6月〕◎北海道▽加藤茂子▽本間雅彦◎岩手県▽長澤浩美◎宮城県▽鎌内浩◎茨城県▽常盤和己▽藤本歌子◎埼玉県▽古閑和則▽小林哲朗◎志村隆司◎山口県▽濱田研一◎松本安裕◎千葉県▽伊賀久則◎猪苗代健一◎大類裕久▽坂口はつ子◎平田淳一◎宮澤敏彦▽若林満◎東京都▽飯島孝夫▽勝野輝美◎洗洋取締役会長江刺富美子◎木部茂徳◎ターボマシンジャパン(株)▽高田明生▽戸田満弘▽長屋信博▽廣江志賀子▽廣重和夫▽本川一善◎松井明◎渡辺千鶴子◎神奈川県▽大森敏弘◎越智豊子▽佐藤明美◎中村芳正◎正木勝美◎大和陸子◎静岡県▽古寺建二◎大阪府▽角丸英子◎兵庫県▽武田佳子◎山口県▽熊谷佐枝子◎長崎県▽寺島和子
〔7月〕◎北海道▽加藤茂子▽本間雅彦◎宮城県▽鎌内浩▽島山和子◎茨城県▽常盤和己▽藤本歌子◎埼玉県▽古閑和則▽小林哲朗◎山口県▽濱田研一◎松本安裕◎千葉県▽伊賀久則◎猪苗代健一◎大類裕久▽坂口はつ子◎平田淳一◎宮澤敏彦▽若林満◎東京都▽飯島孝夫◎香川謙二◎勝野輝美◎洗洋取締役会長江刺富美子◎木部茂徳◎ターボマシンジャパン(株)▽高田明生▽戸田満弘▽長屋信博▽根本京子▽廣重和夫▽本川一善◎松井明◎水田正和◎向井昌子◎渡辺千鶴子◎神奈川県▽大森敏弘◎越智豊子◎佐藤明美◎正木勝美◎静岡県▽古寺建二◎大阪府▽角丸英子◎山口県▽熊谷佐枝子◎大分県▽山口英文
〔8月〕◎北海道▽加藤茂子▽北海道信漁連職員会▽本間雅彦◎宮城県▽鎌内浩▽島山和子◎茨城県▽常盤和己◎藤本歌子◎埼玉県▽古閑和則◎小林哲朗◎山口県▽濱田研一◎松本安裕◎千葉県▽伊賀久則◎猪苗代健一◎大類裕久▽坂口はつ子◎宮澤敏彦◎若林満◎

10月は全国漁船安全操業推進月間です！
海難による死者・行方不明者の約7割は漁船が占めています。漁船衝突事故の約8割は見張り不十分によるものであり、人為的要因によるものが9割以上を占めています。
ライフジャケットの非着用者の死亡率は着用者に比べて約2倍高くなります。万が一海中転落の際、自分の命を守るためライフジャケットを必ず着用しましょう！
漁船の無人漂流のうち、海中転落によるものが約7割を占め、その半数を70歳以上の高齢者が占めています。高齢者の皆様は日頃の体調管理にも万全を尽くしましょう！



第30回

本会の年間行事のひとつに「奨学生・保護者交流活動(名称・ふれあい旅行)」がございます。初年度は2010年。この未知の事業担当者になると私が指名されました。入会15年目にして奨学生の皆さんと関わる業務はお初で、前例が無い行事です。何から手を付けていいのやら全くわからず、不安と緊張がいっぱいで開催日を迎えたのを覚えております。

あれよあれよと5回全て担当しておりますが私の旅行同行実

績は…初年度妊娠中。2回目(育児による)時短勤務中。3回目前年同様時短勤務中。4回目にしてやっと参加。5回目留守番…と、1回しか同行していません。したがって現場の状況がつかめず次年度の改善点も何も浮かびません。担当していましたがどこかさみしい気持ちでした。

唯一皆さんの声が聴ける私のチャンスは出発前に行う「結団式」です。その「結団式」で今年、神が舞い降りしました。参加者の方より「なんで今年

時は小さい子供達だったので会うたび成長していき、そして今回が最終参加となってしまいうご家族がいることに寂しくてジーン。皆さんと絡みは少なかったですが、今回たくさんジーンをいただき、「5年間担当してよかったです。本当に有り難うございました。今後、参加家族を増やしたのは第一の目標ですが、今回で卒業となったご家族と、いつかまた会う機会をつくりたいなあと強く願う担当者でございます。

来年も参加ご家族を募ります。未知の世界は不安・緊張があるかと思いますが、是非参加してみませんか？家族の会話と笑顔とジーンが増えること間違いなしですよ。(k)

水色の羽根募金

- 1、漁協系統募金(各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会(略称・地励協)」等で取り扱った分、一般寄附を含みます)
東京都▽飯島孝夫▽香川謙二▽勝野輝美◎洗洋取締役会長江刺富美子◎木部茂徳◎須藤徳之◎ターボマシンジャパン(株)▽高田明生▽戸田満弘▽長屋信博▽根本京子▽春田孝二郎◎朝子▽廣重和夫▽本川一善◎松井明◎水田正和◎向井昌子◎渡辺千鶴子◎神奈川県▽大森敏弘◎越智豊子◎佐藤明美◎正木勝美◎静岡県▽古寺建二◎山口県▽熊谷佐枝子

- 道組合長会議出席者及び関係者◎青森県▽常夜灯みなと祭り実行委員会◎静岡県▽用宗漁港まつり実行委員会◎三重県▽みえぎょれん会◎兵庫県▽JF東二見◎山口県▽山口県漁協女性部連合会◎山口県漁協青壮年部連合会◎JF山口県下関南風泊支店◎地励協◎大分県▽第31回大分県水産関係親睦ゴルフコンペ◎薬師寺水産(有)

- 職員協議会―第58回日高地区漁協職員大会チャリティーオークション売上金◎千葉県▽千葉県漁業協同組合代表理事組合長伊東衛一叙勲受章に際し▽新勝浦市漁協女性部◎勝浦漁協女性部◎石川県▽JF共水連北陸事業本部役員御一同◎JFいしかわ本所◎福井

- 〔6月〕◎北海道▽平成27年度全

- 〔7月〕◎北海道▽日高地区漁協

- 〔8月〕◎北海道▽JF上磯郡―

しりうち大漁まつり◎青森県▽J  
Fむつ市▽JF横浜町▽JF外ヶ  
浜▽JF六ヶ所村◎茨城県▽JF  
共水連関東東海事業本部茨城支店  
▽JFはさき▽JF磯崎▽JF茨  
城沿海地区漁連▽茨城県漁業信用  
基金協会▽茨城県漁港協会▽茨城  
県漁船保険組合▽茨城県旋網漁協  
▽茨城県無線漁協▽JF久慈町▽  
JF久慈浜丸小▽JF鹿島灘▽J  
F川尻▽全国合同漁業共済組合茨  
城県事務所▽JF大洗町▽JF大  
津▽JF那珂湊▽JF平潟▽地励  
協◎東京都▽JF伊豆大島▽JF  
御蔵島村▽JF小笠原島▽JF小  
笠原母島◎静岡県▽初島漁協婦人  
部◎福井県▽JF福井漁連小浜支  
所◎三重県▽NPO朝光クラブ◎  
長崎県▽JF勝本町▽JF生月▽  
JF西彼南部伊王島支所▽JF有  
川町

2、一般寄附

(6月)◎青森県▽水産八戸新年  
祝賀会実行委員会◎埼玉県▽小野  
沢通◎千葉県▽飯村久子◎東京都  
▽JF全国漁青連―第21回全国青  
年漁業者グループリーダー研究集  
会募金▽国立大学法人東京海洋大  
学▽若井克友▽石崎信義▽東京岩  
水会▽浅海増殖研究発表全国大会  
募金◎富山県▽JFくろべ―自販  
機売上分(株)ワンハート經由◎山  
梨県▽佐藤一江◎岐阜県▽柴田昭  
二◎兵庫県▽久保建彦―香典返し  
の一部◎奈良県▽辻元正夫◎鳥取  
県▽浜野茂夫◎香川県▽山貴士  
◎高知県▽山本光博◎佐賀県▽坂  
井新一郎◎長崎県▽平戸カヤック  
ス◎その他▽ウエノシユウイチ▽  
モリネシユウイチ

(7月)◎北海道▽釧路アポロ石  
油(株)▽波間漁業(株)▽米倉水産(株)▽  
北海道漁業調整事務所▽有式本滝

漁業◎青森県▽開洋漁業(株)▽株弘  
前丸魚◎岩手県▽三陸沿岸芸能振  
興会―海の日カラオケ大会募金◎  
秋田県▽秋田県庁農林水産部水産  
漁港課◎茨城県▽株石田丸漁業◎  
栃木県▽宇都宮水産物小売商業協  
同組合―全水産連第62回全国(福  
井)大会にて◎埼玉県▽小野沢通  
◎千葉県▽極東オイル(株)▽JF千  
葉漁連木更津あさり事業所/JF  
富津―自販機売上分―コカ・コー  
ライーストジヤパン(株)(利根)木  
更津支店經由▽飯村久子◎東京都  
▽(一社)全国いか釣り漁業協会  
▽株中央漁業公社▽(公財)日本  
釣振興会▽(公社)日本水産資源  
保護協会▽全国漁業共済組合連合  
会▽全国漁港・漁村振興漁業協同  
組合連合会▽JF共水連▽全国水  
産加工業協同組合連合会▽全国水  
産物卸組合連合会▽東京北魚(株)▽  
東検産業(株)▽農林中金アカデミー  
▽有丸幸水産▽(一財)日本鯨類  
研究所◎神奈川県▽久保田化工機  
械◎三浦市観光協会食の神祭実行  
委員会◎新潟県▽山津水産(株)▽新  
潟漁業調整事務所◎富山県▽JF  
くろべ―自販機売上分(株)ワン  
ハート經由◎静岡県▽フジ物産(株)  
▽沼津魚市場(株)▽上柳昭治▽日光  
水産(株)◎愛知県▽大東魚類◎大  
阪府▽株うおいち大阪▽植田哲二  
◎鳥取県▽共和水産(株)▽浜野茂夫  
◎島根県▽島根県庁農林水産部水  
産課◎岡山県▽岡山県庁農林水産  
部水産課(水交会)◎広島県▽広  
島魚商協同組合青年部―全水産連  
第62回全国(福井)大会にて/ゴ  
ルフコンペ募金◎徳島県▽徳島県  
庁農林水産部水産振興課◎愛媛県  
▽扇屋食品(株)◎福岡県▽株伊藤商  
店▽全日本海員組合九州関門地方  
支部▽福岡水産物商業協同組合―

全水産連第62回全国(福井)大会  
にて◎佐賀県▽株唐津魚市場◎長  
崎県▽昭徳水産(株)▽平戸魚市(株)▽  
有五島市福江魚市◎熊本県▽熊本  
県庁林務水産部水産振興課◎大分  
県▽株佐伯魚市場▽大分魚市(株)▽  
大分水産(株)◎その他▽クジヒロノ  
ブ

(8月)◎北海道▽JFいぶり中  
央白老支所―白老町役場共催チャ  
リティイベント◎青森県▽青森  
海上保安部◎宮城県▽宮城県秋刀  
魚漁撈通信協会―全日海東北地方  
支部經由◎山形県▽酒田海上保安  
部◎茨城県▽茨城県庁農林水産部  
◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽全  
国漁業協同組合学校▽柏魚市場(株)  
▽飯村久子◎東京都▽(一財)海  
苔増殖振興会▽(一社)水産土木  
建設技術センター▽漁船保険中央  
会▽石崎信義◎潮待茶屋企業組合  
徳会▽東京築地中央市場福祉報徳  
会▽買荷保管企業組合▽NPO水  
産業・漁村活性化推進機構▽日本  
小型船舶検査機構◎神奈川県▽神  
奈川県庁環境農政部水産課◎新潟  
県▽(公財)海洋生物環境研究実  
証試験場有志御一同▽盛勝水産(株)  
◎富山県▽JFくろべ―自販機売  
上分(株)ワンハート經由◎山梨県  
▽山梨中央水産(株)◎京都府▽京都  
府庁農林水産部水産課▽大京魚類  
(株)◎大阪府▽株うおいち大阪▽高  
階救命器具(株)社員御一同◎兵庫  
県▽(一財)日本船員厚生協会神戸  
大倉山海員会館(エスカル神戸)

業調整事務所▽全日本海員組合九  
州関門地方支部◎長崎県▽のぞみ  
漁業(株)▽全日本海員組合長崎支部  
◎大分県▽大分県庁農林水産部◎  
鹿児島県▽枕崎水産加工業協同組  
合代表理事組合長西村協

都道府県別奨学生数

(2015年9月15日現在/単位:人)

都道府県名	給与奨学生					貸与奨学生		2015年度第2回採用者					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	大学生等	合計	幼児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	
北海道	5	12	6	15	38	8	46						
青森			2	3	5		5						
岩手		10	6	11	27	1	28						
宮城	1	6	5	11	23	1	24						
山形													
福島	2	9	11	5	27	1	28	1					1
茨城													
千葉	2	2	2	3	9	4	13						
東京						3	3						
神奈川		2	2	1	5	1	6						
新潟			1	1	2		2						
富山													
石川			2	1	3		3						
静岡						1	1						
愛知													
三重						1	1						
京都													
大阪													
兵庫			2	4	6		6						
和歌山	1	1			2		2						
鳥取													
島根			1		1		1						1
岡山				1	1		2						
広島		1			1		1						
山口				3	3		5						
徳島													
香川			1		1		2						
愛媛		2	2	3	7	3	10						
高知	1		1		2		3						
福岡			1		1		1						
福岡有明海		1	1	1	3		3						
佐賀有明海		1	3	1	5		5						
佐賀有明海													
長崎		5	6	2	13		13						
大分				1	1	1	2						
熊本	1	4	2	1	8		8						
宮崎		1	2	2	5	1	6						
鹿児島		2	4	2	8		8						
沖縄		1	1	4	6		6						
合計	13	60	65	79	217	29	246	1				1	2

\*給与奨学生には特別支援学生を含む。  
 \*貸与奨学生には入学一時金のみの奨学生を含む。  
 \*休学中の奨学生は人数に含まない。  
 \*2015年度第2回採用者は内数である。

訂正とお詫び

前号、2015年7月1日付発行「育英会だより」第156号におきまして、掲載内容に誤りがありましたので以下のとおり訂正させていただきます。

読者の皆さまならびに関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

◆3頁 漁船海難遺児と母の文集

※寄附金は、全て公益目的事業である漁船海難遺児等に対する修学助成事業に使用させていただきます。

「心の中のアルバム」より「やさしいお父さん」作者の在住地 (誤) 宮城県 (正) 宮崎県

◆3頁 漁船海難遺児と母の文集 原稿募集期間延長のお知らせ 文章内 (誤) 文集の刊行が希望しい状況 (正) 文集の刊行が厳しい状況

◆4頁 表・都道府県別奨学生数の学資給与奨学生合計欄 (誤) 高校生等94人、学資給与奨学生小計239人 (正) 高校生等79人、学資給与奨学生小計216人

▼本紙にて掲載しておりますとおり、10月は「全国漁船操業安全月間」です。2008年度より、全ての1人乗り小型漁船では救命胴衣の着用が義務化されていますが、全体的には未だ着用率は低く、昨年においては海中転落者283人のうち着用者は138人と、全体の5割に満たない結果となっております。救命胴衣は自分で自分の命を守るための唯一の手段です。たった1枚羽織ることで生存率は非着用時の2倍に高まります！これ以上、悲しい思いをする子供達を増やさないためにも、漁業者の皆さまには常に着用意識を持っていただき、安全な操業を心掛けて頂きたいと思っております。(M)



編集後記